

令和4年9月22日（木曜日）

筆に託す「安寧」 盛岡二高書道部が奉納

盛岡二高書道部（藤岡琉 盛岡市八幡町の岩手護国神社
字部長、部員9人）は21日、社で、恒久平和と新型コロナウイルスを筆に乗せ、揮毫を奉納



世界平和とコロナ終息を願い、筆を走らせる盛岡二高書道部の部員たち=21日、盛岡市八幡町・岩手護国神社

2年生5人が参加。神事後に縦1・5尺、横2・8尺の紙と向き合い、大きな「安寧」の字と笑顔や平和が広がる世界をつくるための三つのメッセージをしたためた。
迫力がありながらも温かみを感じさせる構図やメッセージ。藤岡部長は「ウクライナ問題やコロナの不安が少しでも和らぐように、思いが届いてほしい」とほほ笑んだ。書は同神社内に掲示する。
国連が定める同日の国際平和デーに合わせ、平和祈願の揮毫を行う「9・21世界平和の祈り」（和プロジエクトTAISHI主催）の一環。全国の護国神社などで実施した。

（岩手日報）

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。